

・ガーデン花火ってどういう花火?

「比較的狭いガーデン」でもお使い頂き易いように、また隣家との距離によって、大きな音の出る花火等が提案出来ない会場様向けに、花火と点火機材をセットにてご案内させて頂いております。短保安距離、小音のロケーション配慮型屋外専用花火プランです。小さな保安距離でも最大の効果を発揮すべく、厳選した花火をご提供させて頂いております。

左から、星打ち 50 連発「スターダスト×2」、「スパンコール×2」、「コンサートファンタジータイプ S 3m×2」、点火に必要な発射機材 (実納品分は固定台、筒、コード共に 6 台分)



ガーデン花火「カーニバル」セット内容

・ガーデン花火のシーン

ガーデン花火とは文字通り「庭」をお使い頂いての花火プランですので、設置及び点火に関しては「屋外使用」が前提となります。ですので、シーンとしてはガーデン入退場時、デザートブッフェ、ガーデンイベント発生時等の、ゲストの関心がガーデンに向いている時にお使い頂くのがオススメです。

カーニバルは「コンサートファンタジー ⇨ スターダスト ⇨ スパンコール」の順で点火しますので、タイミングを合わせて点火をするシーン向きで、スターリーナイツは 8 本全部がスターダストのセットですので、点火タイムラグが 2 秒程ありますが、華やかさが特徴的です。



カーニバル
3 種のセット花火



スターリーナイツ
全弾400発の星打ち花火

・設置の手順（カーニバル・スターリーナイツ共通）

「コンサートファンタジーの固定」

01. カーニバルには、標準でコンサートファンタジー 3m タイプ S が 2 本付属しています。設置手順を参照しながら、コンサートファンタジーを固定筒に取り付けます。タイプ S の花火は本体部分が太く、屋内用火火の用に筒の内部に固定できません。右の写真のように同梱している「ナイロンバンド」を使って筒外部に固定して下さい。この時、花火が変形してしまう程強く絞めず、軽く結わえる程度で固定します。



「スパンコールの固定」

02. 上のコンサートファンタジーと同じく、こちらのスパンコールもカーニバルのみに付属する花火です。固定台への固定は右の写真の通り、固定筒を逆さに立てれば固定筒のスリット部分（溝が切つてある部分）からコードが取り出せます。スパンコールのコードは上下 2 カ所をセロテープで固定された状態で納品されますので、下側のセロテープを剥がしてから固定筒に挿入して下さい。



「スターダストの固定」

03. スターダストのみ、カーニバル・スターリーナイツ共通で使う花火です。（カーニバルは標準で 2 本、スターリーナイツは 8 本セット）

他の花火と違って、スターダストは花火の銅線が非常に長く作られていますので、固定台端子と結線する場合、必ず銅線部分を二つに折り曲げてから結線して下さい。右の囲み内にあるように結線端子前で左右の銅線が触れる（ドロップ）と、回路チェックはクリアしますが、絶対に点火できません。銅線が無駄に露出しないように、きちんと折り曲げてから結線しましょう。



04. 01 のコンサートファンタジーと同じく、固定筒内部に差込んでの固定ができないタイプの火薬ですので、同梱しているナイロンバンドを使って、固定筒の上下 2

カ所に花火本体を固定します。

コンサートファンタジーやスパンコール等、他の花火と比べるとかなり大きいサイズのイメージがありますが、点火時の反動はほとんど無い花火ですので、花火

が変形する程強く結わえないで下さい。花火の噴出方向を間違え



ないように、アルミホイールが貼ってある方を上向きにして、固定して下さい。尚、アルミは剥がさずに、そのまま点火して下さい。

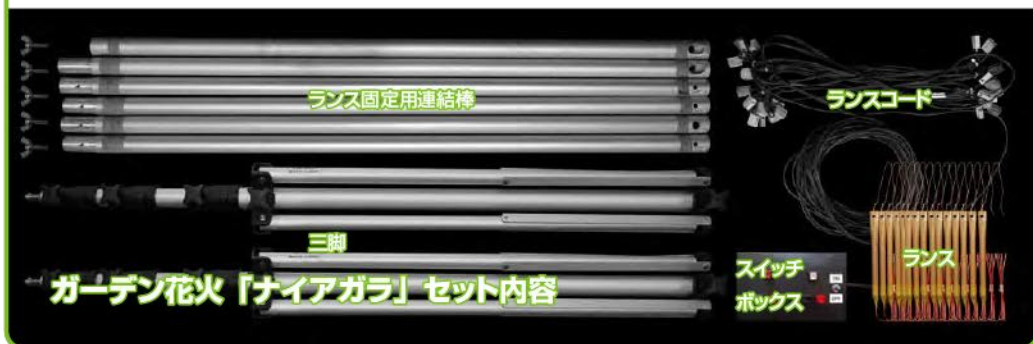
スイッチとの接続方法及びチェックの方法は本書 3P,4P をご参照下さい。

花火を固定する際「花火の向き（上下）」を間違わないように、よく確認して下さい。

・ナイアガラとはどんな花火?

点火と同時に火の粉の滝が降り注ぐ、その名の通り「ナイアガラ」の仕掛け花火です。打ち揚げ型ではなく「降り注ぐ」という花火の特性上、保安距離がほとんど取れない場合のロケーションにおいても、魅力的な情景をご提案できる屋外用花火プランです。状況にもよりますが、設置箇所から周囲 3m 程度の保安距離を準備すれば点火が可能です。しかしながらその分、他の花火プランと比較すると、若干設置に時間を要します。

ランス固定用連結棒 ×6 本、連結用ネジ(蝶ネジ) ×5 個、三脚 ×2 本、ランスコード、スイッチボックス、ナイアガラランス(火薬) ×15 本、ナイロンバンド ×20 本、チェック回路



・ナイアガラのシーン

点火後、タイムラグ無く降り始める花火の滝は、カーテンや、ガーデン入退場時の扉が空くと同時に、ゲストの視線を釘付けにします。高さ =4m 幅 =6m 約 15 秒の光の滝 (別途料金で 30 秒バージョンもございます。) 写真にも大変取まりの良い演出ですので、夜のガーデン入場をより華やかに記録する事ができます。



・設置手順 (回路テストを含む)

01. まず二つの三脚の頭に右の図の通り、同梱の部品を取り付けます。三脚側の一番上のつまみを、反時計回りに回して緩め、部品を差込んだ後に時計回りで締め、部品を三脚に固定させます。

02. 次に、ランス固定用連結棒(以下横棒)の連結です。横棒は全部で6本同梱されていますので、まずは「隣り合う番号順に1~12の数字」を並べ、右の図のようにネジ穴を合わせて差込みます。差し込み後、同梱の蝶ネジを差し込み「軽く」絞め込みます。左右に軽く引っ張り、お互いが抜けなければ大丈夫ですので、絞め過ぎに注意して下さい。(きつく絞めると破損し、分解の時に連結が外せなくなります。)

03. 02で横棒の連結が完了したら、2本の三脚の足を開いて、立たせた後、連結した横棒を右の写真の通り、差込みます。この段階では、次の作業ができなくなりますので、三脚の縦棒はまだ伸ばしません。04の作業効率を良くする為に、横棒が「目の高さ」に来る程度で留めて下さい。

04. 次はランスコード(火薬の固定と電気を流す役割のコード)を同梱のナイロンバンドを使って横棒に固定します。ランスコードには15ヶ所の端子が出ています(1ヶ所当たり2個の端子)ので、まずは横棒の足元にランスコードを延ばし、7と8ヶ所の丁度真ん中位が「横棒の中心(横棒の番号で6と7の継ぎ目)に当たるように」ナイロンバンドで中心位置を決め、左右に固定していきます。こうする事によって花火の位置バランスが左右に振れる事を防ぎます。

05. 04作業が完了したら、ランス(火薬)のつり下げです。ランスはとてもデリケートな部品ですので、くれぐれも慎重に扱って下さい。(特に紙テープを巻いてある部分)まずは、各端子の根元部分にある「輪っか」にランスを結わえます。(真結びで可)間違えやすいのは、つり下げに使う線と導線の混同です。2本の銅線が出ているコードは各端子に差込みますので、つり下げ作業時に気を付けましょう。右の05をよく確認して「つり下げに使う線か、端子とつなぐ線か」をよく見て下さい。

花火とランスコードの間隔はできる限り離してから取り付けます。ランスコードにランスを結わえた後、銅線部分を折り曲げて、端子に差込みます。端子は右の丸い囲みの写真通り、指でつまむと銅線が奥まで入るようになりますので、銅線挿入後、抜けが無いかわ確認する為にコードを軽く引っ張って下さい。15本分吊り下げと結線ができればこの作業は完了です。尚、銅線に極性はありません。

06. ランスの取り付けが完了したら、右の写真の通りランスコード端の銅線部分をスイッチボックスの端子に接続します。この端子は上から端子を押すと銅線を通す穴が空くようになっていきますので、端子を押しながら銅線部分を通して下さい。結線後はコンセントを差込む前に通電チェックを必ず行って下さい。通電チェックに異常がなければ三脚のポールを伸ばして設置完了です。

07. 全ての結線を終えたら、右の写真の通りスイッチボックスのスイッチをONでチェック回路の端子部分にスイッチボックスのコンセントプラグを当てて「点火ボタンを押したままチェック回路のボタンを押します。」グリーンランプが点灯すれば、結線に問題がありませんので、コンセントプラグをコンセントに差込んで、ポールを伸ばせば設置完了です。後は点火ボタンを押すだけです。火の粉が降ってくる地面と周囲2m範囲に必ず「打ち水」をして下さい。

